2026 年 10 月 29日
農　研　機　構

2026 年度 D-ホルデイン改変オオムギの栽培実験について

農研機構では、ゲノム編集技術により得られた D-ホルデイン改変オオムギ（以下、本ゲノム編集オオムギ）に関して、2026 年度の野外栽培実験を 2026 年 11 月上旬より開始いたします。

本ゲノム編集オオムギは、種子貯蔵タンパク質 D-ホルデインのアミノ酸配列をゲノム編集技術によって改変したオオムギです。オオムギ粉生地の物性が変化することで、オオムギ粉の用途拡大への貢献が期待されます。

今年度の本ゲノム編集オオムギの野外栽培実験を、農研機構内のほ場にて下記のように行う予定です。

なお、本ゲノム編集オオムギは、文部科学省が定めた「研究段階におけるゲノム編集技術の利用により得られた生物の使用等に係る留意事項について（通知）」に基づき情報提供を行い、2024 年 10 月 23 日及び 2026 年 7 月 8 日に受理されたものです。

届出の内容については、下記の文部科学省のウェブページからご覧いただけます。

記

〇栽培実験の概要

栽培予定時期：2026 年 11 月上旬～2027 年 7 月中旬

栽培場所：農研機構観音台第 2 事業場隔離ほ場（茨城県つくば市観音台 2-1-2）

注：本ゲノム編集オオムギは、「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」（カルタヘナ法）で規制される遺伝子組換え生物等には該当しませんが、栽培実験は予め届けられた栽培ほ場で行います。

〇D-ホルデイン改変オオムギの栽培実験計画書（別紙）

（参考）文部科学省公表先

URL：https://www.mext.go.jp/a_menu/lifescience/bioethics/mext_02730.html

問い合わせ先など

栽培実験実施者：　農研機構　生物機能利用研究部門 所長　瀬筒 秀樹
問い合わせ先：　農研機構　生物機能利用研究部門　研究推進部　研究推進室
メールアドレス　sh-nias-nbt_gm@naro.go.jp
URL　https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html